

PAT-NO: JP409263075A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09263075 A

TITLE: TRANSACTION CARD

PUBN-DATE: October 7, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAKAYA, MITSURU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

OKI ELECTRIC IND CO LTD

N/A

APPL-NO: JP08074290

APPL-DATE: March 28, 1996

INT-CL (IPC): B42D015/02, G06K017/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate a processing time at a window of a bank clerk and a waiting time of a customer by holding transaction data to a transaction card to integrate the card with a delivery medium.

SOLUTION: A transfer card 1 is integrated with the part in which a sender's name is entered of the outer surface of a twofold postcard 2 and separated from the postcard 2 along a perforation 4 to function as a card. A magnetic stripe is provided to the rear surface of the transfer card 1 and transaction data such as a bank name being a transfer destination, a branch name, an account number, a name or a payment state are magnetically stored therein. By making an application to a bank for the transfer card 1 at a window, data are written in the magnetic stripe after the closing time or by a separate bank clerk at

leisure and the transfer card 1 is sent back to a customer in the state integrated with the postcard 2 later. The customer cuts off the transfer card 1 along the perforation 4 and carries only the card to the bank to use the same in transfer processing.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-263075

(43)公開日 平成9年(1997)10月7日

(51)Int.Cl. ⁹	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 2 D 15/02	5 0 1		B 4 2 D 15/02	5 0 1 B
G 0 6 K 17/00			G 0 6 K 17/00	L

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平8-74290

(22)出願日 平成8年(1996)3月28日

(71)出願人 000000295

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72)発明者 中屋 満

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気
工業株式会社内

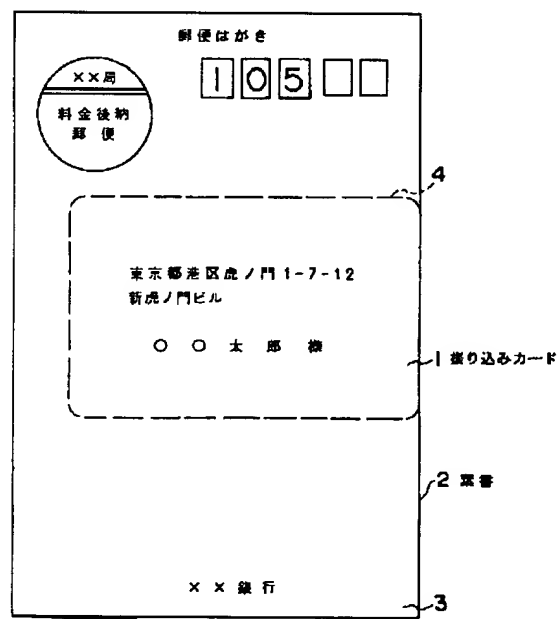
(74)代理人 弁理士 大西 健治

(54)【発明の名称】 取引カード

(57)【要約】

【課題】 行員の窓口での処理時間と顧客の待ち時間とを削減する。

【解決手段】 振り込みカード1に取引を行うためのデータを保持し、葉書2に一体となるようにした。



本発明の振込カードを示す説明図

【特許請求の範囲】

【請求項1】 取引データを保持し、配送媒体に一体となることを特徴とする取引カード。

【請求項2】 上記取引カードは、上記配送媒体からミシン目で分離される請求項1記載の取引カード。

【請求項3】 上記取引カードは、上記配送媒体に貼り付けられる請求項1記載の取引カード。

【請求項4】 上記取引カードは、磁気ストライプに上記取引データを保持する請求項1記載の取引カード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、郵便局や銀行などの金融機関に設置される自動入金機において、振り込み処理時などの自動取引の際に使用される取引カードに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、郵便局や銀行などの金融機関に設置される自動入金機において、振り込み処理時などの自動取引の際に使用される取引カードには、その磁気ストライプ内に取引を行うためのデータを保持するものがある。通常、顧客による振り込み処理は、振り込み先の銀行名、支店名、口座番号、氏名などを顧客がATM（自動入金機）に入力し、現金を挿入して行っている。また、ある特定の銀行口座に数回に渡って現金を振り込む場合には、振り込みカードが使用される。振り込みカードの磁気ストライプ内には、振り込み先の銀行名、支店名、口座番号、氏名などが記憶されている。顧客は、振り込みカードを金融機関に持参してATMに挿入すれば、上述したような振り込みデータを毎回入力する必要がなく、振り込み処理が円滑に行われる。この振り込みカードの発行は、顧客が銀行窓口にて申請することにより、その場で行員が行っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の取引カードにあつては、発行する際に顧客が銀行窓口にて申請し、その場で行員が発行処理を行っているため、行員がその作業に時間を費さなければならない上に、顧客にとっても待ち時間が長くなってしまうという問題点があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明の取引カードにおいては、取引データを保持し、配送媒体に一体となる。

【0005】上記のように構成された取引カードは、顧客が窓口で申請すると、閉店後、または手のあいている別の行員が発行処理を行い、後日、取引明細書とともに顧客に配送される。

【0006】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。なお、各図面に共通な要素には同一の符号を付す。図1は本発明の振り込みカードを

示す説明図、図2は振り込みカードの裏面を示す説明図、図3は磁気ストライプデータを示す説明図である。図1において、振り込みカード1は、二つ折りにされた葉書2の外面3の差出人名が記載される部分に一体となっており、ミシン目4に沿って葉書2から切り離すことにより、カードとして機能するものである。

【0007】図2において、葉書2は、内面5がビニール加工された上に特殊な糊が塗布され、二つ折り状態で加圧するものであり、一度開かれれば内面5の密着力は消失する。葉書2の内面5の右側には、顧客の返済状況である取引明細が記載されており、左側は、振り込みカード1の裏面1aとなっている。振り込みカード1の裏面1aには、磁気ストライプ1bが設けられており、この磁気ストライプ1b内には、図3に示すような、振り込み先である銀行名、支店名、口座番号、氏名、返済状況などの取引データが磁気記憶されている。この磁気データのなかで、請求金額Aは顧客があらかじめ設定した毎月払いの金額、請求金額Bはボーナス払いの際の金額を示す。

【0008】このような振り込みカード1は、顧客が銀行窓口で申請することにより、閉店後、または手のあいている別の行員によって、磁気ストライプ1b内にデータが書き込まれるなどの発行処理が行われ、後日、葉書2と一体となって顧客に配送される。顧客は、ミシン目4に沿って振り込みカード1を切り取り、振り込みカード1のみを銀行に持参して、振り込み処理に使用する。

【0009】上述したような振り込みカードが使用されるATMについて説明する。図4は本発明に係るATMの外観を示す斜視図、図5はATMの制御部を示すブロック図である。図4において、ATM6は、その正面に紙幣投入排出口12a、硬貨投入排出口12b、カード挿入排出口17、通帳挿入排出口18、表示パネル19を備えている。

【0010】図5において、ATM6の制御部7には、カードリーダ制御部8、通帳制御部13、現金処理制御部14、操作盤制御部15が接続されている。さらに、カードリーダ制御部8にはカードリーダ9とカード走行部10とが、通帳制御部13には通帳プリンタ11と通帳走行部20とが接続される。また、現金処理制御部14には投入排出口12と鑑別計数部21と金庫22とが、操作盤制御部15には顧客操作部23と表示パネル19とが接続される。

【0011】入金処理を行う場合、顧客が操作誘導の表示パネル19の入金キーを押下すると、制御部7は、操作盤制御部15を介して入金取引と判断し、通帳の挿入を待つ。顧客が通帳挿入排出口18から通帳を挿入すると、通帳制御部14は、通帳制御部11へ通帳を取り込んでその磁気ストライプ内の頁と行内容を読み取り、制御部7へ読み取ったデータを送信する。

【0012】制御部7は、このデータが正常であれば、

現金処理制御部14を介して紙幣の投入を待つ。顧客が紙幣投入排出口12aから紙幣を投入すると、現金処理制御部14は、鑑別計数部21でそれが真券か偽券を判断し、真券であれば一時保留する。顧客が入金額を確認して表示パネル19の確認キーを押下すると、通帳制御部13は、通帳プリンタ11で取引内容を印字し、通帳挿入排出口18から通帳を返却する。また、現金処理制御部14が紙幣を金庫22に収納し、入金処理を終了する。

【0013】出金処理を行う場合、顧客が操作誘導の表示パネル19の出金キーを押下すると、制御部7は、操作盤制御部15を介して出金取引と判断し、カードの挿入を待つ。顧客がカード挿入排出口17からカードを挿入すると、カードリーダ制御部8は、カードを取り込みカードリーダ9で磁気ストライプ内のデータを読み取って制御部7へ送信する。制御部7は、このデータが正常であれば、顧客に支払い金額を表示パネル19から入力するように指示する。顧客が支払い金額を入力すると、制御部6が現金処理制御部14により金庫22から指定された金額分の紙幣を繰出す。その後、カード挿入排出口17から顧客にカードを返却し、鑑別計数部21を通して正常券を紙幣投入排出口12aから排出し、支払い処理を終了する。

【0014】上述したような振り込みカード1とATM6を使用した振り込み動作について説明する。図6は本発明に係る振り込み動作を示すフローチャートである。図6において、ステップ1で顧客が振り込みカード1をカード挿入排出口17から挿入すると、振り込みカード1はカード走行部10へ取り込まれる。カードリーダ制御部8は、ステップ2でカードリーダ9により振り込みカード1の磁気ストライプ1b内の取引データを読取って制御部7へ送信する。

【0015】制御部7は、ステップ3で振り込みカード1による処理可否かを判定し、振り込みカードによる処理であればステップ4へ、IDカードによる処理であればIDカード処理を行う。制御部7は、ステップ4で図3に示すようなデータから請求残高があるか否かを判定し、請求残高があればステップ5へ、なければ請求額なし処理を行う。さらに制御部7は、ステップ5でボーナス区分(半年賦返済)があるか否か、つまり請求金額Bを読み取って当月と返済月が一致しているか否かを判定し、一致していれば、ステップ6で表示パネル19によりボーナス払いと毎月払いとのいずれかを選択させる画面と、ボーナス払いの請求金額Bとを表示する。

【0016】次にステップ7で顧客がボーナス払いを選択したか否かを判定し、顧客がボーナス払いを選択して紙幣投入返却口12aから請求金額Bを投入すると、ステップ8でそれを取り込む。制御部7は、ステップ5でボーナス区分がない場合と、ステップ7で顧客がボーナス払いを選択しない場合は、ステップ21で当月より以

前に未払い月があるか否かを判定し、あればステップ22でそれを表示する。次に、顧客が未払い分と今月分との合計金額を紙幣投入返却口12aから投入すると、ステップ23でそれを取り込む。

【0017】また、ステップ21で未払いがない場合は、ステップ24で今月の返済が要であるか否かを判定し、要であればステップ25でそれを表示する。顧客が今月分の金額を紙幣投入返却口12aから投入すると、ステップ26でそれを取り込む。ステップ8、ステップ23、またはステップ26で所定の紙幣を取り込むと、現金処理制御部14は、取り込んだ紙幣を鑑別計数部21で真券か否かを鑑別して計数し、その金額データを制御部7に送信する。

【0018】制御部7は、入金金額が請求金額と一致していれば、ステップ10で振り込みカード1の磁気ストライプ1b内のデータをカードリーダ9により書き替え、残り支払い回数を-1、かつ当月の返済済みとする。次にステップ11で振り込みカード1をカード挿入排出口17から排出し、ステップ12で顧客が振り込みカード1を受けとって振り込み動作が終了する。

【0019】このように、振り込みカード1を取引明細を記載した葉書2と一体にして顧客に配送することにより、顧客が銀行窓口にて振り込みカード1を申請すると、閉店後、または手のあいている別の行員が発行処理を行い、後日、取引明細書とともに顧客に配送するので、行員の窓口での処理時間と顧客の待ち時間とを削減することが可能となる。さらに、葉書2に振り込みカード1の利用方法や利用可能時間などを記載しておけば、顧客にとって利便性が良いことになる。なお、本実施の形態においては、振り込みカード1を葉書2から切り離す構成としたが、振り込みカード1を葉書2に貼り付ける構成としても同様の効果が得られる。

【0020】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されているので、以下に記載されるような効果を奏する。

【0021】すなわち、取引カードを取引データを保持し、配送媒体に一体となるようにしたことにより、行員の窓口での処理時間と顧客の待ち時間とを削減することが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の振り込みカードを示す説明図である。

【図2】振り込みカードの裏面を示す説明図である。

【図3】磁気ストライプデータを示す説明図である。

【図4】本発明に係るATMを示す斜視図である。

【図5】ATMの制御部を示すブロック図である。

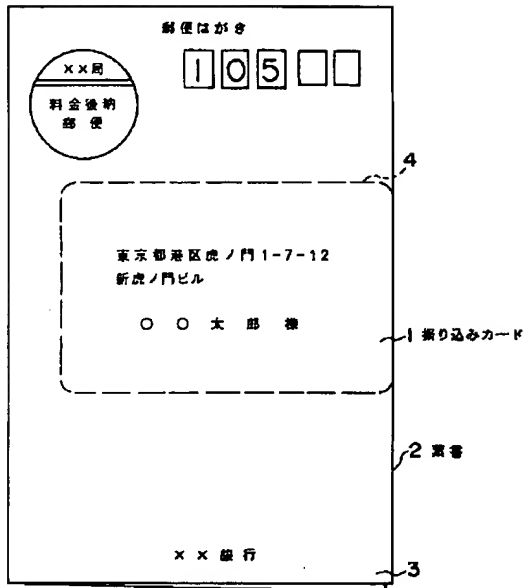
【図6】本発明に係る振り込み動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

1 振り込みカード

1b 磁気ストライプ

【図1】



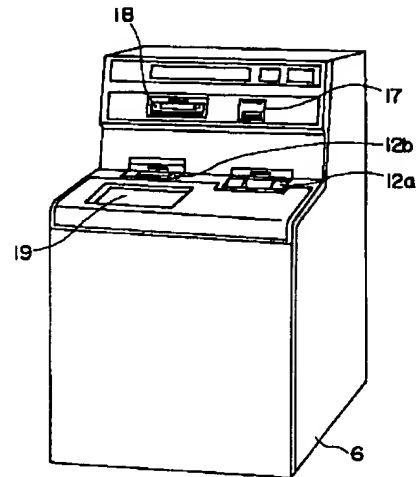
本発明の挿込カードを示す説明図

【図3】

銀行名	支店名	口座番号	氏名	請求残高	請求金額A	返済月	返済回数	返済回数	請求金額B	返済月	返済回数	返済回数
-----	-----	------	----	------	-------	-----	------	------	-------	-----	------	------

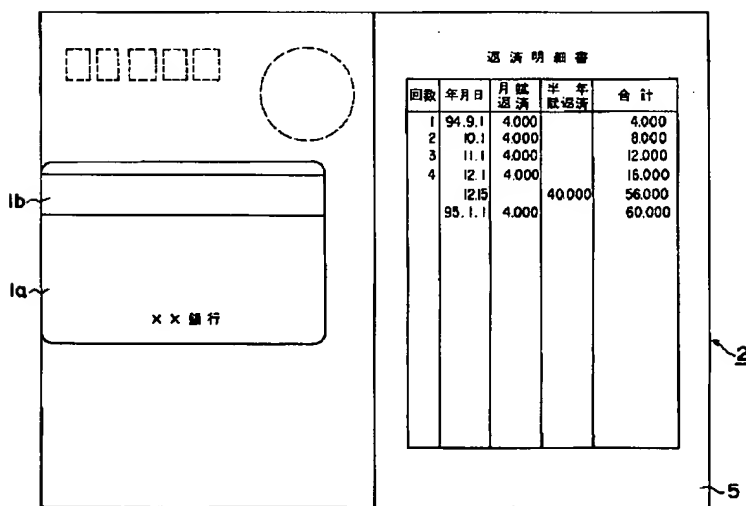
磁気ストライプデータを示す説明図

【図4】



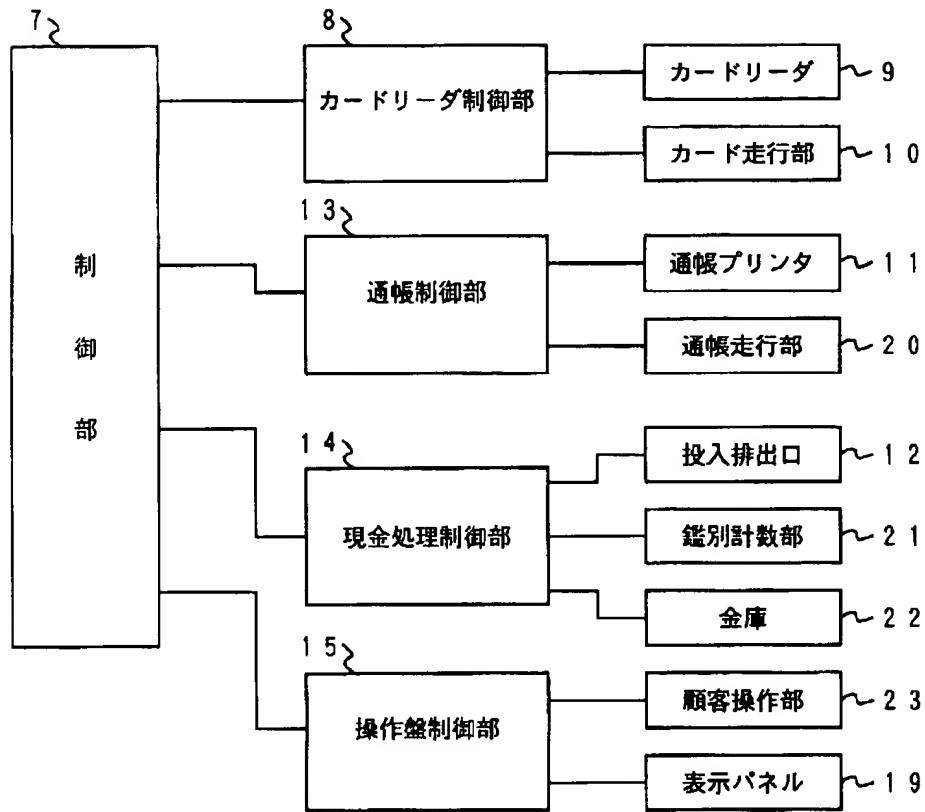
本発明に係るATMを示す斜視図

【図2】



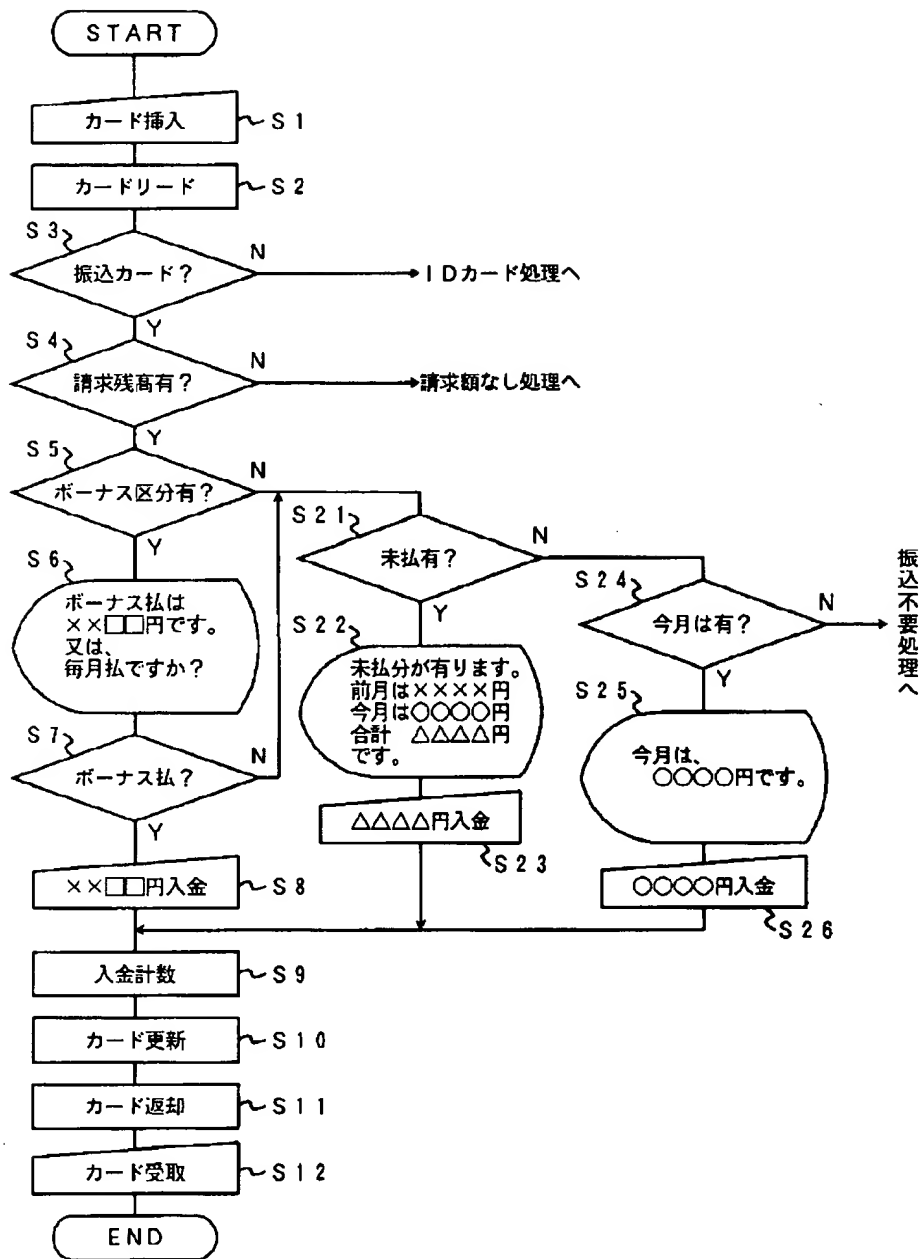
挿込カードの裏面を示す説明図

【図5】



A T Mの制御部を示すブロック図

【図6】



本発明に係る振り込み動作を示すフローチャート